

この特集のホームページは、プロップ・ステーションのホームページ(<http://www.prop.or.jp>)からアクセスできます！



パソコン操作だけでなく、スキー、登山などアウトドアならおまかせ！の「岡本敏己さん」。神戸プロジェクト・インターネットセミナー講師としても大活躍。動かない両腕の代わりに駆使される「足技」に、受講生、ボランティアから感嘆の声が上がります！



プロップが初めて仕事として受注したホームページを制作したのが「前川拓哉さん」。今もホームページ制作の中心的存在です。実家は京都の「お茶屋さん」。といっても「ほんまの<お茶>売ってますねんよ」



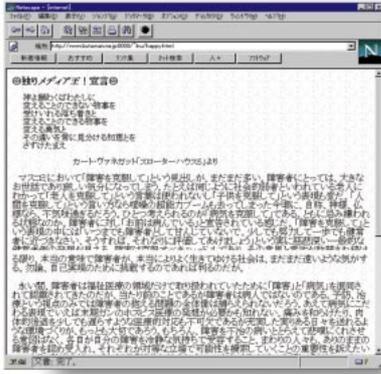


「やまちゃん」こと「山崎博史さん」は、「嫁さんもろたんやから、働かな」とプロップの門を叩いたchallenged。「これがキーボードというものですか」という初心で入門。想像を絶する自己研鑽を積み重ね、野村総研との在宅ワーク実験でリーダー的役割を担う。現在はIBMとプロップのプロジェクトでノーツを使ったプログラムを構築中。元「族」って、ほんま？うん、リーゼントが似合ってるやろ。

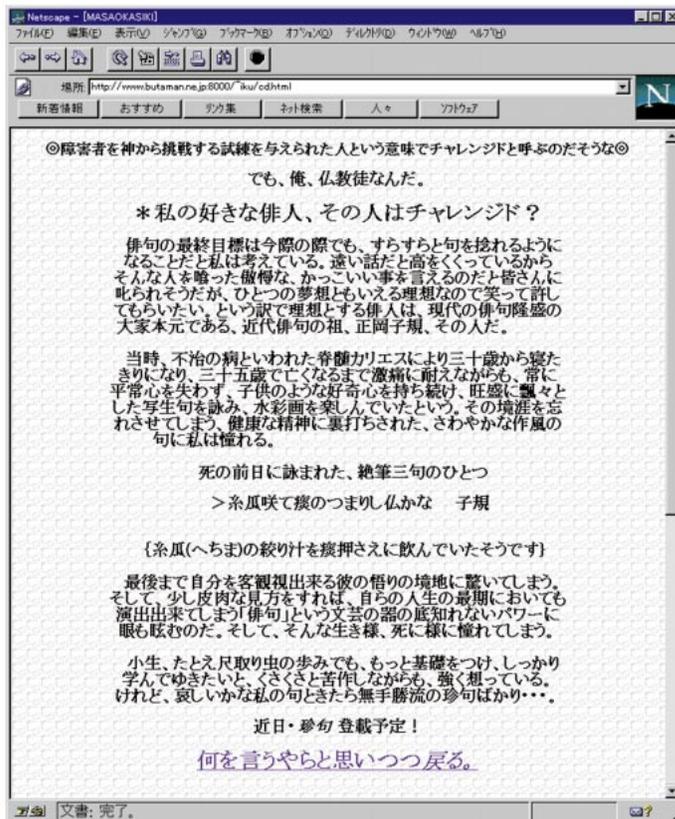
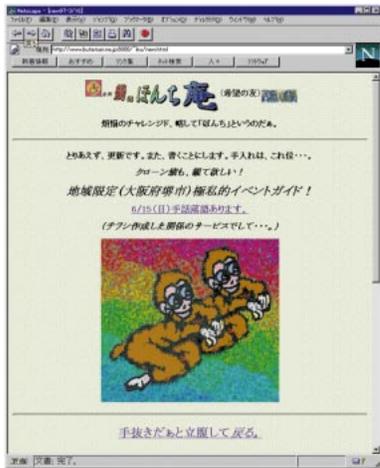


「この写真は実物より怖すぎる！！」と、ユーモアたっぷりの「長岡巧治くん」は25歳。進行する筋ジスのため、呼吸器をつけ、指先で編み棒をゆっくり操りながらキーボードに向かう時「いつもは上がる熱が、なぜか下がるんです」と、お母さん。ホームページを開設してから思わぬ遠方からメールが来て「嬉しかった」という巧治くんは、ばりばりの「阪神ファン」でっせ。

第1回“ Prop Challenged Art展 ”(今秋開催予定)にむけて、作品制作に励む Macintosh コースの皆さんのホームページです。
 プロップでは、このアート展にご協賛下さる企業を募集しています。
 ご支援よろしくお願いたします。



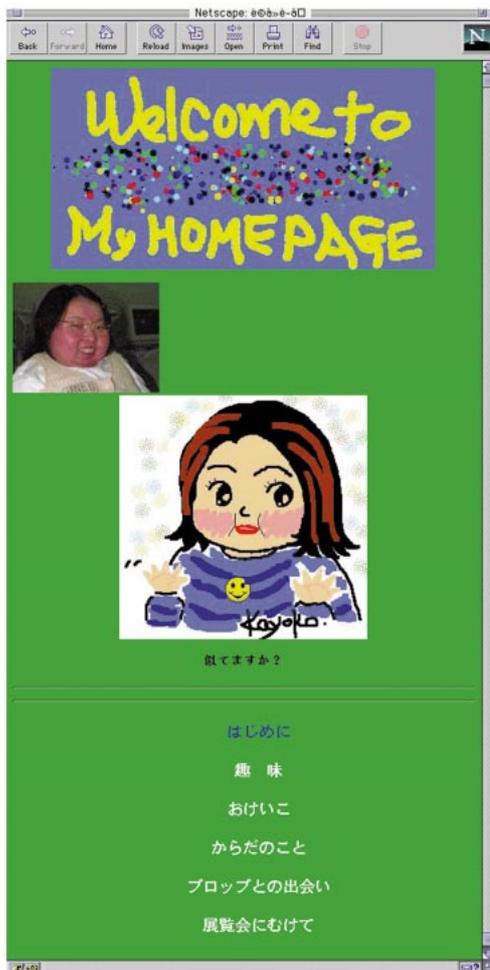
異才「吉田幾俊さん」のホームページは、独特の色使いと、独学で作った動画で惹きつけます。絶妙の語り口で「講座」も「高座」もOK。おもわず「よっ、いくちゃん!」と声をかけたくなるページ。「幸福は歩いてこない、だからホームページをつくるのさ~」
 神戸プロジェクト・インターネットセミナーの講師も努めています。



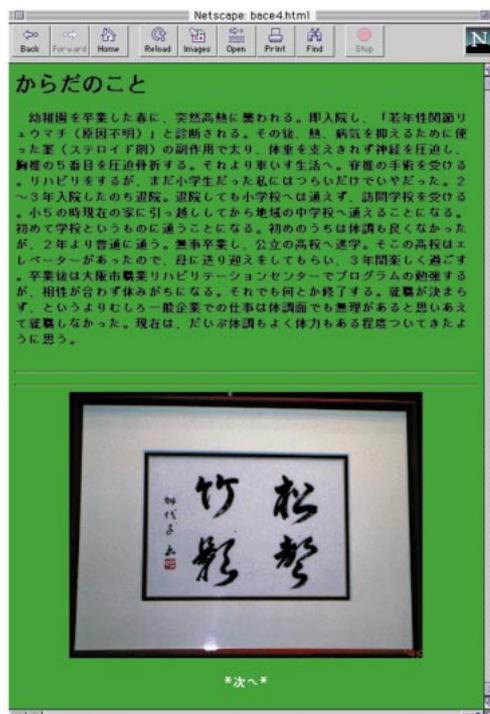


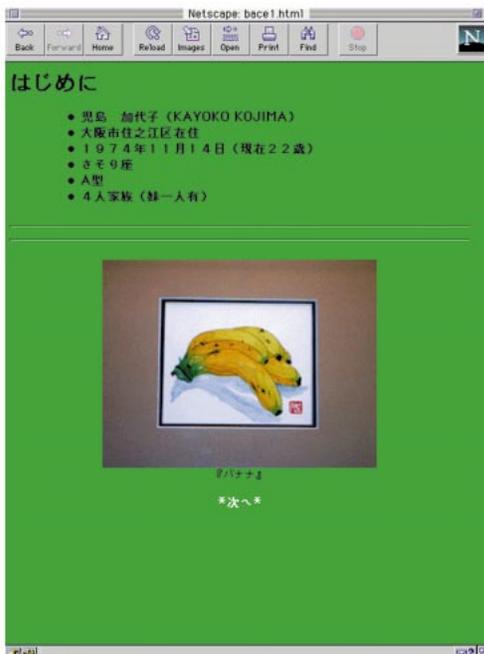
絵本作家をめざす「久保利恵さん」のホームページ。「たくさんの子もたちに、ほっとするひとときをあげたい」という利恵さんです。

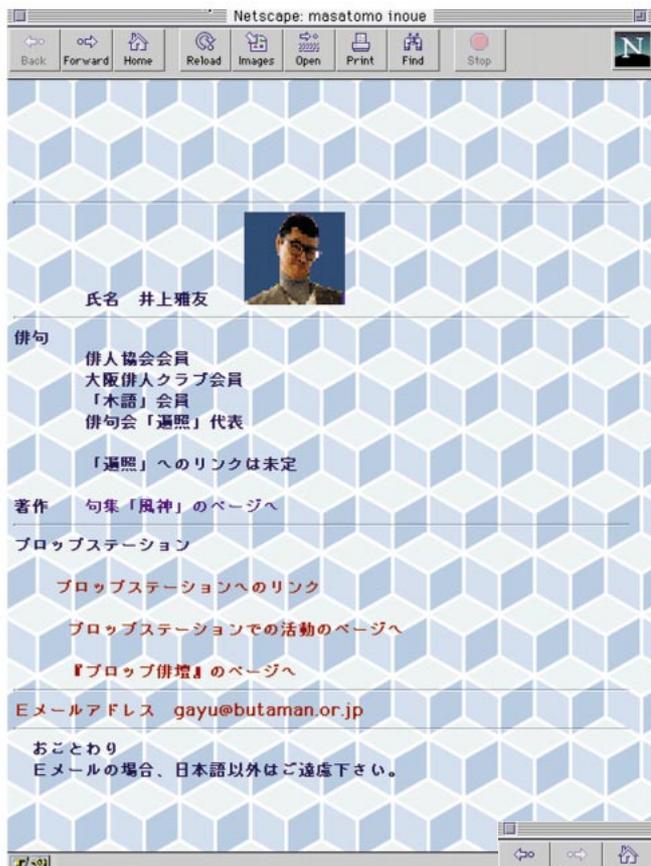




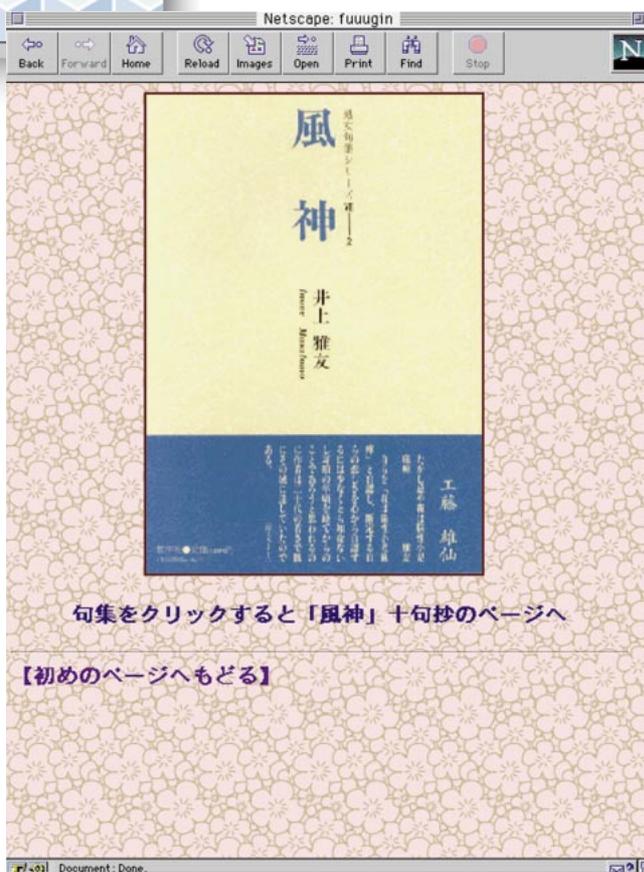
野村総研とのリモートワーク実験で、在宅アルバイト体験をした「児島加代子さん」。マシントラブルが続いて一時は「コンピュータ恐怖症」になったけど、今はそれも癒えて作品制作に励んでいます。書道のホームページをぜひ充実させて欲しいなっ！

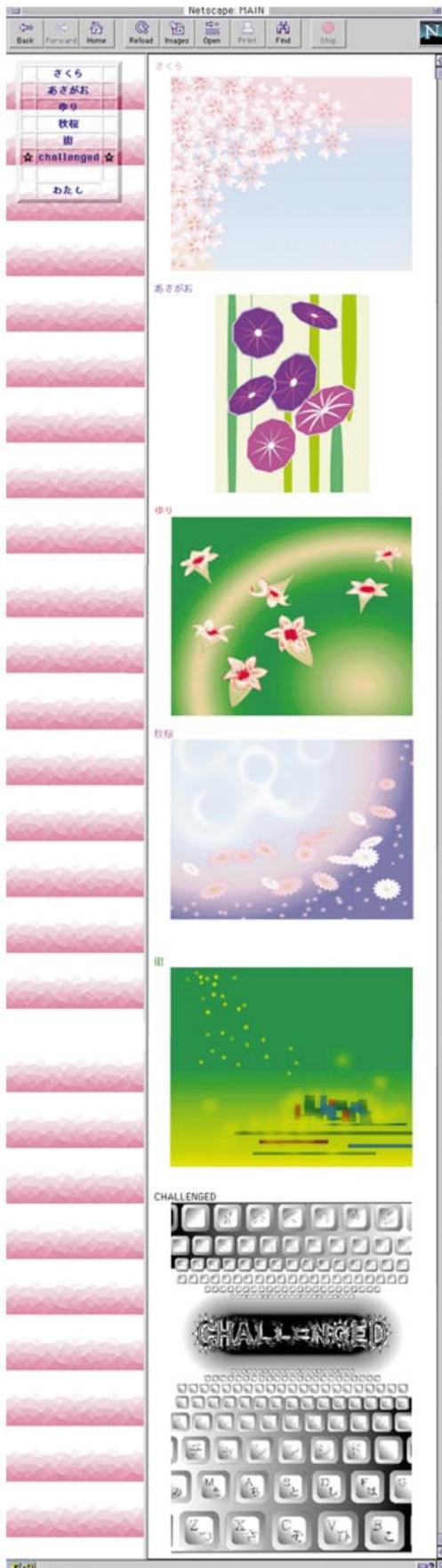






「井上雅友(がゆう)さん」の主宰するプロップ・ネット俳句ボードで、俳句の楽しさを覚えた人がいっぱい。雅友さんのページからは、温かい人柄の奥にふつつつとたぎる俳句への情熱が伝わってきます。

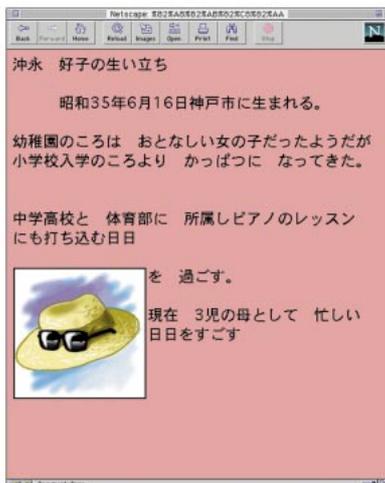
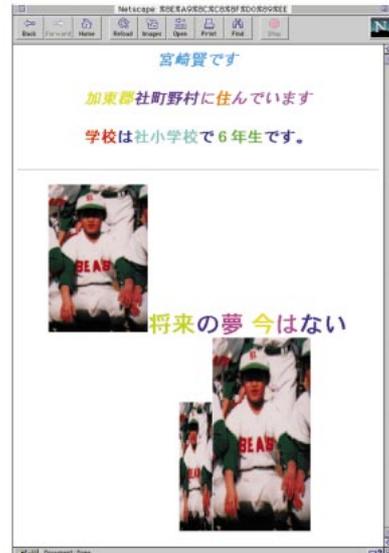


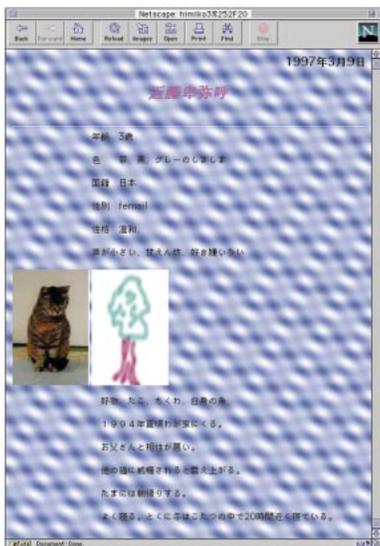
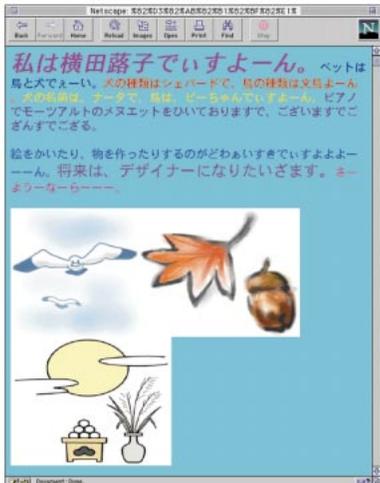
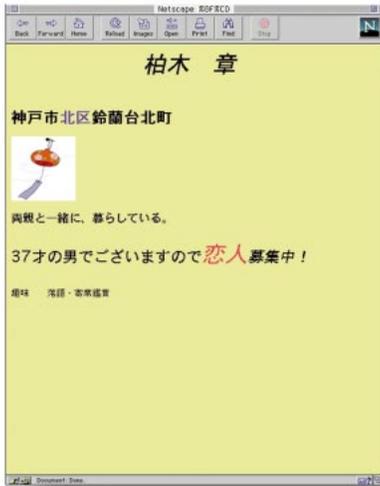


「中村弘子さん」の世界をかいてみると、ふっと現実から浮遊するような感覚を覚えます。懐かしくて、温かく、ちょっとミステリアスなひととき・・・

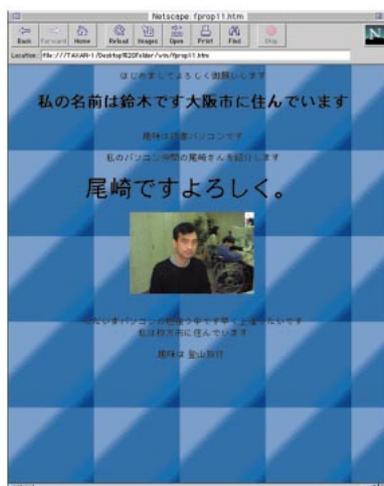
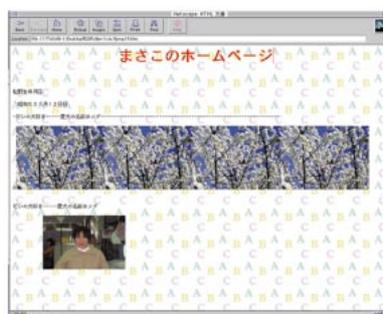
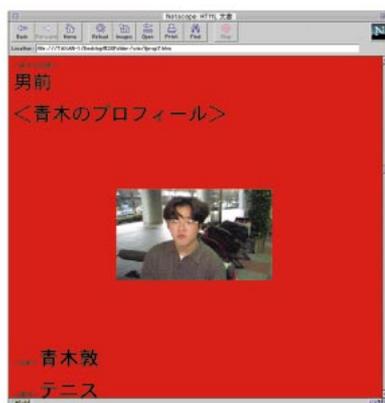
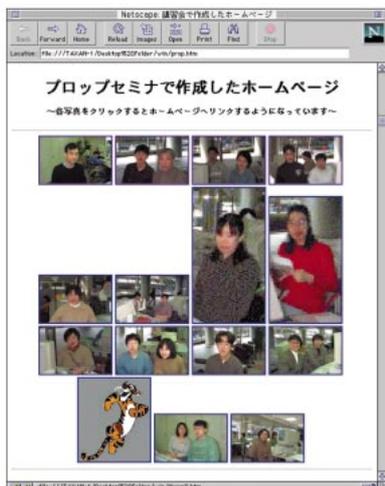


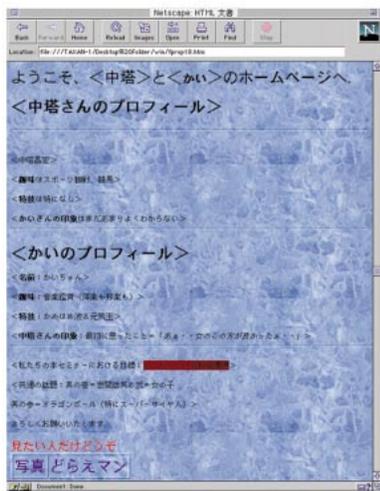
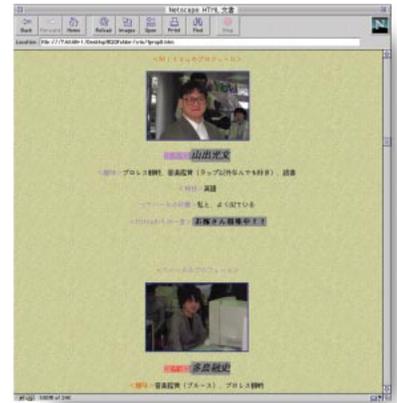
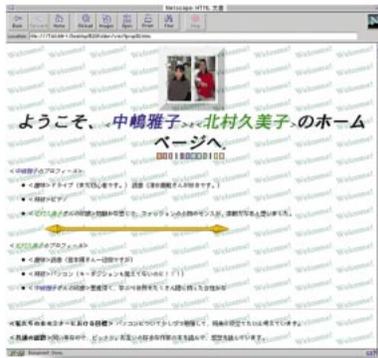
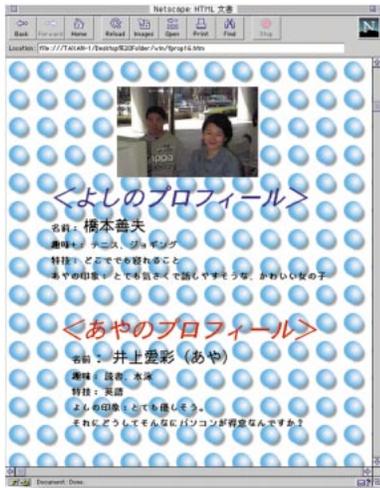
プロップ神戸プロジェクト、インターネットセミナー第1期生の皆さんのホームページ。重度の肢体不自由や、精神に障害を持つ人たち8組と共に、4組の小学生とお父さん、お母さんがボランティアスタッフに囲まれ「わいわい、がやがや」楽しく勉強してます。講師も勿論challenged。NPOプロップならではのノーマライズ・セミナーで「さあ、今日から貴方も情報発信者！」





プロップ・コンピュータセミナー第10期Windows95コースの皆さんのホームページ。富士通さんのご協力で、大阪ビジネスパークにある「Infoweb Coffee」で制作させて戴きました。





「京愛」という俳号を持つ「石田圭介さん」。奥さんの「優子さん」とともに「圭優堂」という工房を造り、句集の出版などを始めました。出身校の堺養護学校ではパソコン・クラブの非常勤講師。プロップ神戸プロジェクトでも、インターネットセミナー講師を務めています。





「わびすけくん」は遠方の療護施設から、リフトワゴン車と電車を乗り継いでプロップ・セミナーに通ってたけど「褥創(じょくそう)」のためドクターストップ。その彼から届いたのは口棒で描いたコンピュータグラフィックスの絵はがき。「入所施設に居ても、コンピュータネットワークを使って仕事をする事」。それが「わびすけくん」の目標です。

